

氏名	国分 貴徳	部署	理学療法	職名	准教授
研究分野	基礎理学療法(動物実験、バイオメカニクス)、運動器理学療法学				
学位	博士(医学)@東京医科歯科大学、 修士(リハビリテーション学)、学士(理学療法学)@埼玉県立大学				
学歴	2004年3月 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 理学療法学科 卒業 (理学療法士) 2011年3月 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科 修了 修士 2016年9月 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 修了				
経歴	2004.4 ~ 2011.5 医療法人 名圭会 白岡整形外科 リハビリテーション科 2011.5 ~ 2019.3 公立大学法人 埼玉県立大学 理学療法学科 助教 2019.2 ~ 現在 Shriners Hospital for Children, Portland Research Center, Visiting Scientist 2019.4 ~ 現在 公立大学法人 埼玉県立大学 理学療法学科 准教授				
所属学会(役職)	国内: 日本基礎理学療法学会、日本運動器理学療法学会、埼玉県理学療法学会(学術局編集部長)、専門リハビリテーション研究会(学術編集部長)、日本発生物学会、日本整形内科学研究会 国際: Orthopaedic Research Society (ORS), Society for Neuroscience (SfN), International Society for Physical and Rehabilitation Medicine(ISPRM)				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	運動器障害理学療法学 組織修復・治癒過程総論 1. 骨格筋 2. 腱組織 3. 靭帯組織	共著	あり	MEDICAL VIEW, 全671ページ	国分貴徳, 金村尚彦, 他 著 加藤浩 編	2020.12.10	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Relationship Between the Walking Velocity Relative to the Slip Velocity and the Corrective Response	共著	あり	○	<i>J Med Bio Eng.</i> 41, pp25-33	Hirata K, <u>Kokubun T</u> , Miyazawa T, Hanawa H, Kubota K, Sonoo M, Fujino T, Kanemura N	2020.5
2	Evaluation of the Validity, Reliability, and Kinematic Characteristics of Multi-Segment Foot Models in Motion Capture	共著	あり	○	<i>Sensors</i> , 20(16), pp4415-4431	Sekiguchi Y, <u>Kokubun T</u> , Hanawa H, Shono H, Tsuruta A, Kanemura N	2020.8
3	Foot Kinematics of Impact Absorption and Force Exertion During Depth-Jump Using a Multi-segment Foot Model	共著	あり	○	<i>J Med Bio Eng.</i> 40, pp757-765	Sekiguchi Y, <u>Kokubun T</u> , Hanawa H, Shono H, Tsuruta A, Kanemura N	2020.8
4	Usefulness of Muscle Synergy Analysis in Individual With Knee Osteoarthritis During Gait	共著	あり	○	<i>IEEE Transactions of Neural Systems and Rehabilitation Engineering</i> 29: pp239-248,	Kubota K, Hanawa H, Yokoyama M, Kita S, Hirata K, Fujino T, <u>Kokubun T</u> , Ishibashi T, Kanemura N	2020.10
5	Effects of exercise therapy on joint instability in patients with osteoarthritis of the knee: A systematic review	共著	あり		<i>Osteoarthritis and Cartilage Open</i> 2(4), pp1-11	Kawabata S, Murata K, Nakao K, Sonoo M, Morishita Y, Oka Y, Kubota K, Kuroo-Nakajima A, Kita S, Nakagaki S, Arakawa K, <u>Kokubun T</u> , Kanemura N	2021.2
6	Influence of the site of injury on the spontaneous healing response in a rat model of total rupture of the anterior cruciate ligament.	共著	あり	○	<i>Connect Tissue Res</i> , pp1-13	Kano T, <u>Kokubun T</u> , Murata K, Oka Y, Ozone K, Arakawa K, Morishita Y, Takayanagi T, Kanemura N	2021.2
7	タイピング動作におけるリストレストの使用は右尺側手根伸筋の筋活動と水平面の運動を変え得るか	共著	あり		理学療法-臨床・研究・教育, 28(1), pp17-22	伊藤 貴紀, 国分 貴徳, 滋野 莉穂, 小林 章, 金村 尚彦	2021.3
8	成長期の高強度運動下における筋収縮形態の違いがEnthesis構造に及ぼす影響の解明に向けた予備的検討	共著	あり		理学療法-臨床・研究・教育, 28(1), pp51-56	高島 啓, 小曾根 海知, 高橋 花奈, 米野 萌恵, 国分 貴徳	2021.3

9	関節制動による関節不安定性の違いが関節軟骨・半月板に与える影響	共著	あり		理学療法 - 臨床・研究・教育, 28 (1), pp62-68	諸沢 和真, 荒川 航平, <u>国分 貴徳</u>	2021.3
10	Effect of Various Types of Muscle Contraction with Different Running Conditions on Mouse Humerus Morphology	共著	あり	○	<i>Life</i> , 11(4), 284	Ozone K, Oka Y, Minegishi Y, Kano T, Kokubun T, Murata K, Kanemura N	2021.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	A QUANTITATIVE STUDY TO EXAMINE THE EFFECT OF CONTROLLING ABNORMAL JOINT INSTABILITY IN A MOUSE MODEL OF ANTERIOR CRUCIATE LIGAMENT TIBIAL DISPLACEMENT AND CARTILAGE DEGENERATION	共同		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress, Vienna, Austria (Web開催へ変更)		<u>T. Kokubun</u> , K. Arakawa, Y. Oka, K. Ozone, A. Kobayashi, H. Takahashi, K. Takahata, M. Yoneno, K. Murata, N. Kanemura	2020.4-5
2	EFFECT OF JOINT INSTABILITY ON BONE-CARTILAGE DEGENERATION IN DESTABILIZATION OF THE MEDIAL MENISCUS MODEL	共同		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress, Vienna, Austria (Web開催へ変更)		K. Arakawa, <u>T. Kokubun</u> , Y. Oka, K. Ozone, S. Nakagaki, K. Murata, N. Kanemura	2020.4-5
3	IMPACT OF CONTROLLING ABNORMAL JOINT MOVEMENT ON THE EFFECTIVENESS OF SUBSEQUENT EXERCISE INTERVENTION IN MOUSE MODEL OF EARLY KNEE OSTEOARTHRITIS	共同		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress, Vienna, Austria (Web開催へ変更)		Y. Oka, K. Murata, T. Kano, K. Ozone I, K. Arakawa, <u>T. Kokubun</u> , N. Kanemura	2020.4-5
4	CONTROLLING JOINT INSTABILITY AFTER ANTERIOR CRUCIATE LIGAMENT TRANSECTION INHIBITS THE TRANSFORMING GROWTH FACTOR-BETA-MEDIATED OSTEOPHYTE FORMATION	共同		Osteoarthritis Research Society International 2020 World Congress, Vienna, Austria (Web開催へ変更)		K. Murata, Y. Oka, K. Onitsuka, <u>T. Kokubun</u> , A. Nakajima, K. Arakawa, S. Nakagaki, N. Kanemura	2020.4-5
5	Kinetics of the foot and lower extremity joints during drop-jump tests	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Yuka Sekiguchi, Hiroki Hanawa, <u>Takanori Kokubun</u> , Naohiko Kanemura	2020.7
6	Development of ultrasound imaging to analyze muscle dynamics	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Kohei Musashi, Akira Kobayashi, Riho Shigeno, Yuka Niimi, Haruna Takahashi, Kei Takahata, Moe Yoneno, <u>Takanori Kokubun</u>	2020.7
7	Effect of aging and knee osteoarthritis on muscle synergy	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Keisuke Kubota, Hiroki Hanawa, Moeka Sonoo, Shunsuke Kita, Keisuke Hirata, Tsutomu Fujino, Taku Miyazawa, <u>Takanori Kokubun</u> , Naohiko Kanemura	2020.7
8	Does the use of wrist rests change the horizontal movement and upper limb muscle activities during typing?	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Takanori Ito, <u>Takanori Kokubun</u> , Riho Shigeno, Akira Kobayashi, Naohiko Kanemura	2020.7
9	Kinematic analysis of the motion of descent of steps under different foot landing positions	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Mio Yoshida, Natsumi Miyamoto, Yasuyo Sunaga, Takanori Ito, <u>Takanori Kokubun</u>	2020.7
10	Kinematic characteristics of foot and lower limb joint coordination for posture control during one leg stance on a wobble balance board	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Yuka Niimi, Takanori Ito, Yuka Sekiguchi, Akira Kobayashi, Kohei Musashi, Haruna Takahashi, Moe Yoneno, Kei Takahata, <u>Takanori Kokubun</u>	2020.7
11	Kinematic analysis of the motion of descent of steps under different foot landing positions	共同		International Society of Electrophysiology and Kinesiology 2020 Virtual Congress (Web開催)		Mio Yoshida, Natsumi Miyamoto, Yasuyo Sunaga, Takanori Ito, <u>Takanori Kokubun</u>	2020.7
12	スポーツ関連性Enthesopathy発症メカニズムの解明：筋収縮形態に着目して	共同		第46回 日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会, 神戸		小曾根 海知, <u>国分 貴徳</u> , 金村 尚彦	2020.11
13	地域在住脳卒中片麻痺者において前額面における体幹の回転加速度は歩行中の転倒リスクと関連する	共同		第18回 日本神経理学療法学会		渡邊 孝志, 金村 尚彦, <u>国分 貴徳</u> , 平田 恵介, 塙 大樹, 濱野 祐樹	2020.12
14	遠心性収縮優位な持続的運動は腱付着部炎を誘発する	共同		第25回 日本基礎理学療法学会		小曾根 海知, <u>国分 貴徳</u> , 岡 優一郎, 峯岸 雄基, 高島 啓, 高橋 花菜, 米野 萌恵, 村田 健児, 金村 尚彦	2020.12
15	新たに定義した足部多剛体リンクモデルの運動学解析における妥当性の評価	共同		第25回 日本基礎理学療法学会		関口 優佳, <u>国分 貴徳</u> , 塙 大樹, 庄野 仁美, 鶴田 歩, 金村 尚彦	2020.12
16	矢状面全身運動パターンは変形性膝関節症者において特徴的であるか	共同		第25回 日本基礎理学療法学会		久保田 圭祐, 園尾 萌香, 喜多 俊介, 塙 大樹, 平田 恵介, 宮澤 拓, 藤野 努, <u>国分 貴徳</u> , 金村 尚彦	2020.12

17	高強度運動介入による機械的負荷の蓄積は Enthesopathy様の病態変化を惹起する	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	高島啓、小曾根海知、高橋花奈、米野萌恵、荒川航平、村田健児、金村尚彦、 国分貴徳	2020.12
18	半月板機能不全による関節不安定性と、圧縮応力の増大が関節軟骨変性に与える影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	荒川航平、諸沢和真、岡優一郎、小曾根海知、中垣澄香、高島啓、村田健児、金村尚彦、 国分貴徳	2020.12
19	ラット棘上筋腱再建術後における通常飼育が Scx発現量に与える影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	高橋花奈、小曾根海知、米野萌恵、高島啓、宇佐美優奈、荒川航平、村田健児、金村尚彦、 国分貴徳	2020.12
20	マウスアキレス腱断裂後治療モデルにおいて早期可動域運動が及ぼす影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	米野萌恵、峯岸雄基、小曾根海知、高橋花奈、高島啓、宇佐美優奈、荒川航平、村田健児、金村尚彦、 国分貴徳	2020.12
21	脳卒中者における歩行時の膝関節屈曲角速度と筋活動の関係	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	濱野祐樹、青木健太、塙大樹、園尾萌香、石森翔太、小黒修平、 国分貴徳 、金村尚彦	2020.12
22	ラット膝前十字靭帯損傷モデルにおける自己治癒靭帯の神経再生への影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	宇都 弥紀、峯岸 雄基、西元 淳司、岡 優一郎、荒川 航平、 国分貴徳 、村田 健児、金村 尚彦	2020.12
23	異なる脱神経期間のラット坐骨神経圧挫モデルに対する運動介入が再神経支配と脊髄神経回路の可塑性に及ぼす影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	峯岸 雄基、西元 淳司、宇都 弥紀、小曾根 海知、岡 優一郎、 国分貴徳 、村田 健児、金村 尚彦	2020.12
24	不安定板トレーニングは足関節周囲筋の選択的トレーニングにはならない	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	新美 ゆうか、伊藤 貴紀、小林 章、関口 優佳、武蔵 晃平、高島 啓、高橋 花奈、米野 萌恵、 国分貴徳	2020.12
25	歩行時の足部アーチ可動性は走行における下腿回旋に影響する	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	庄野 仁美、鶴田 歩、関口 優佳、新美 ゆうか、久保田 圭祐、宮澤 拓、塙 大樹、小林 章、 国分貴徳 、金村 尚彦	2020.12
26	前足部横アーチの外的支持力が歩行に及ぼす影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	鶴田 歩、庄野 仁美、関口 優佳、塙 大樹、宮澤 拓、 国分貴徳 、金村 尚彦	2020.12
27	健常者階段降段動作における足底接地位置の違いが動作効率性と生体への負担に及ぼす影響	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	吉田 実央、宮本 なつみ、須永 康代、伊藤 貴紀、 国分貴徳	2020.12
28	マウスアキレス腱複合体の発達におけるメカニカルストレスと成長関連因子発現の関係	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	宇佐美 優奈、荒川 航平、米野 萌恵、高橋 花奈、高島 啓、船越 逸生、村田 健児、金村 尚彦、 国分貴徳	2020.12
29	自己治癒靭帯の組織学的特徴解析-2次元高速フーリエ変換を使用したコラーゲン組織の定量化-	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	森下 佑里、小林 章、村田 健児、加納 拓馬、 国分貴徳 、高柳 清美、金村 尚彦	2020.12
30	関節不安定性の抑制による変形性膝関節症の疼痛軽減効果の検討	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	黒尾 彩、森下 佑里、村田 健児、 国分貴徳 、金村 尚彦	2020.12
31	スプリング付きシューズが歩行に与える影響の運動学的・筋電図学的解析	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	船越 逸生、久保田 圭祐、伊藤 貴紀、武蔵 晃平、宇佐美 優奈、 国分貴徳	2020.12
32	タイピング動作中のキープレス時間とキーリリース時間における前腕筋活動の機能	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	伊藤 貴紀、小林 章1、吉田 実央、高橋 花奈、武蔵 晃平、金村 尚彦、 国分貴徳	2020.12
33	超音波診断装置を用いた大腿二頭筋長頭の動態変化計測手法確立へ向けた予備的検証	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	武蔵 晃平、小林 章、滋野 莉穂、新美 ゆうか、 国分貴徳	2020.12
34	関節不安定性の管理は Gremlin-1の発現を抑制し関節軟骨の変性を遅延させる	共同	第25回 日本基礎理学療法学会	岡 優一郎、村田 健児、中垣 澄香、荒川 航平、黒尾-中島 彩、小曾根 海知、峯岸 雄基、 国分貴徳 、金村 尚彦	2020.12
35	変形性膝関節症患者の関節不安定性に着目した運動療法の効果-システムティック・レビューによる検討-	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	川端空、中尾幸暉、森下佑里、園尾萌香、喜多俊介、久保田圭介、岡優一朗、黒尾彩、 国分貴徳 、金村尚彦、村田健児	2021.1.17

36	ラット棘上筋腱修復モデルの治癒過程におけるコラーゲン繊維の組織学的評価	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	高橋花奈, 小曾根海知, 米野萌恵, 高島啓, 宇佐美優奈, 武蔵晃平, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1.17
37	運動強度を考慮した介入は疼痛管理に寄与するかー実験動物を用いた研究ー	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	中垣澄香, 岡優一郎, 峯岸雄基, 小曾根海知, 村田健児, 国分貴徳 , 金村尚彦	2021.1.17
38	異なる入力速度におけるタイピング動作中の示指MCP関節運動と手関節伸筋の調節機能との関係	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	伊藤貴紀, 小林章, 武蔵晃平, 船越逸生, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1.17
39	遠心性収縮運動の強度及び頻度の違いが腱骨付着部に及ぼす影響	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	小曾根海知, 国分貴徳 , 高島啓, 高橋花奈, 米野萌恵, 岡優一郎, 峯岸雄基, 荒川航平, 村田健児, 金村尚彦	2021.1.17
40	変形性膝関節症に対する関節運動の正常化とトレッドミル運動の効果	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	岡優一郎, 村田健児, 中垣澄香, 小曾根海知, 峯岸雄基, 黒尾彩, 荒川航平, 国分貴徳 , 金村尚彦	2021.1.17
41	踵部高が歩行時の下肢筋活動に及ぼす影響の探索	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	船越逸生, 宇佐美優奈, 武蔵晃平, 伊藤貴紀, 国分貴徳	2021.1.17
42	変形性膝関節症の進行早期における関節不安定性と滑膜炎の関係	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	高島啓, 荒川航平, 高橋花奈, 米野萌恵, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1.17
43	関節不安定性の制動における滑膜の炎症性サイトカインを抑制効果について	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	村田健児, 岡優一郎, 加納拓馬, 森下佑里, 黒尾彩, 荒川航平, 中垣澄香, 小曾根海知, 峯岸雄基, 国分貴徳 , 金村尚彦	2021.1.17
44	マウスアキレス腱複合体の胎生期から生後早期におけるメカニカルストレスと成長関連因子発現の関係	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	宇佐美優奈, 高島啓, 船越逸生, 国分貴徳	2021.1.17
45	半月板機能不全による関節不安定性の制動が軟骨変性因子に与える影響	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	荒川航平, 高島啓, 岡優一郎, 小曾根海知, 中垣澄香, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1.17
46	アキレス腱断裂縫合術後における腱治癒過程の顕微鏡観察ー腱治癒を促進する運動プロトコルの確立に向けてー	共同	第29回 埼玉県理学療法学会	米野萌恵, 小曾根海知, 高橋花奈, 高島啓, 宇佐美優奈, 村田健児, 金村尚彦, 国分貴徳	2021.1.17
47	Effect of suppression of joint instability on cartilage and meniscus degeneration	共同	ORS 2021 Annual Meeting, Web開催	K.Arakawa, K.Takahata, Y.Oka, K.Ozone, S.Enomoto, K.Murata, N.Kanemura, T.Kokubun	2021.02.12-16
48	The Influence of Mechanical Force on Embryonic and Postnatal Tendon Development	共同	ORS 2021 Annual Meeting, Web開催	Y.Usami, K.Takahata, K.Arakawa, K.Murata, N.Kanemura, D.Pal, B.Pryce, R.Schweitzer, T.Kokubun	2021.02.12-16
49	Relationship between joint instability and synovitis in the early stage of knee osteoarthritis	共同	ORS 2021 Annual Meeting, Web開催	K.Takahata, K.Arakawa, H.Takahashi, M.Yoneno, K.Murata, N.Kanemura, T.Kokubun	2021.02.12-16
50	Impact of exercise intensity on tendon healing in rat rotator cuff reconstruction model	共同	ORS 2021 Annual Meeting, Web開催	Haruna Takahashi, Kaichi Ozone, Moe Yoneno, Yuna Usami, Kazuma Morosawa, Kei Takahata, Yuki Minegishi, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.02.12-16
51	Achilles Tendon Rupture: Effect Of Passive Ankle Dorsiflexion Stretching After Surgical Treatment In Mice	共同	ORS 2021 Annual Meeting, Web開催	Moe Yoneno, Kaichi Ozone, Yuki Minegishi, Yuna Usami, Haruna Takahashi, Kei Takahata, Kenji Murata, Naohiko Kanemura, Takanori Kokubun	2021.02.12-16
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科研費 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))		発生・発達のマカノバイロジを応用した前十字靭帯自己治癒機構の解明	研究代表者	2020-2022年度
2	埼玉県立大学 奨励研究 S研究		アキレス腱断裂縫合術後の最適なリハビリテーションプロトコルの開発と効果検証	研究代表者	2020-2021年度

3	埼玉県立大学 奨励研究 科研費コース(500万円以上)	前十字靭帯損傷後自己治癒過程における関節液変化の解明	研究代表者	2020年度
4	埼玉県立大学 奨励研究 特別推進研究	胎生期から新生児期、発達期における筋腱複合体成熟におけるメカノバイオロジー機構の探索	研究代表者	2020-2021年度
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	運動学入門(学部:1年前期)		2	一年生に対し、理学療法の基本となる運動学について、導入的体験と知識の統合を行う科目である。姿勢と歩行について担当した。
2	身体構造運動学(学部:1年後期)		7	身体の構造についての理解を深め、身体運動を生成する構成体への理解を深める科目である。下肢について担当した。
3	身体機能運動学(学部:2年前期)	○	7.5	運動を制御する神経機構と効果器としての筋、関節など、運動が生成されるメカニズムについて、概説する科目である。
4	リハビリテーション基盤実践学 (大学院前期課程)		2	リハビリテーション基盤科学、リハビリテーション応用科学を解説し、根拠に基づくリハビリテーション介入について学ぶ科目である。理学療法領域の効果検証と生体動作解析情報による検証について担当した。
5	保健医療福祉研究法特論 (大学院前期課程)		2	本学大学院で行われる研究について、分野横断的に学習し、広く保健医療福祉領域の研究手法について学ぶ科目である。理学療法領域の研究について担当した。
6	障害基礎解析学 (大学院前期課程)		6	運動器の障害構造を解析するために必要となる知識と技術を学ぶ科目である。運動機能解剖学的分析および生体信号処理について担当した。
7	理学療法症候障害論 (大学院後期課程)		2	対象疾患に関する運動学、運動力学、生体工学、臨床神経生理学、運動生理学、組織学、生化学などの最新研究手法を学び、科学的根拠のある理学療法の効果検証方法とその限界について学ぶ科目である。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	基礎運動療法学演習 (新カリ、学部:1年後期)		2	「歩行」をテーマ、その身体制御機構やバイメカニクス等について、講義を行い、その後正常歩行の神経制御メカニズムについて、グループディスカッションを行った。
2	理学療法セミナー(OSCE I, II) (学部:3,4年前期)		15	実習へ向けた、臨床実践科目である。科目担当者として試験監督とフィードバックおよび試験の運営を担当した。
3	運動学的臨床推論演習 (学部:3年後期)	○	8	患者の病態について、運動学的な視点から問題点を考察し、介入方法を検討する流れについて演習を行った。
4	理学療法特別演習 (学部:4年後期)		1	運動制御の領域に関する国家試験対策について解説を行った。
5	障害基礎解析学演習 (大学院前期課程)		14	リハビリテーション領域の研究について、ヒトを対象とした研究から基礎研究に至るまで、その実際や具体的研究手法の解説等を行った。
6	理学療法症候障害論演習 (大学院後期課程)		4	疾病や障害によって生じた機能制限因子や活動制限・参加制限について理学療法症候障害論で学んだ知識を深め、理学療法の効果検証を行うための研究手法について演習する科目である。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習 (学部:1年後期)		8	科目責任者として、科目の運営とグループ教員への情報伝達、学生へのオリエンテーションの運営や報告会等を担当した。
2	運動学実習 (学部:2年前期)	○	22	重心の推定とその動揺、姿勢と重心について、古典的方法から、重心動揺計及び三次元動作解析装置と床反力計を使用した実習を行った。
3	臨床教育実習 I, II, III, IV (学部:2,3,4年)		-	4年生の実習(臨床教育実習 III・IV)は科目の責任者として、その運営を担当した。また、実習施設の担当者として、実習施設訪問と実習後のフィードバックを担当した。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4-2020.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2020.4-2021.3	主指導（指導教員） 2名	副指導（指導補助教員） 1名
3	博士論文		主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学部ゼミ生指導	2020.4-2021.3	1～4年生の総勢14名のゼミ生に対し、指導を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	卒業生向け症例検討会	地域産学	症例検討	毎月
2	施設勤務理学療法士向け症例検討会	地域産学	症例検討	毎月
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	公益社団法人 日本理学療法士協会	基本評価検討委員会		2020.10～
2	公益社団法人 埼玉県理学療法士協会	学術局 理学療法編集部 部長		2017.4～
3	専門リハビリテーション研究会	学術編集部 部長		2018.7～
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2019.4～
2	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会		2018.4～
3	学科等における委員会等	19期生副担任		2017.4～
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				